にしきの　つうしん
錦乃通信
Mamiya J.H.S School News

令和８年１１月２日（月）
さいたま市立馬宮中学校
令和８年度　第７号

学校教育目標　未来を拓け　～自己の創造・生きる自信～　SINCE 1947

School Education Goal　Open your Future　～Self Creation　・　Confidence to live～

「創立 80 周年を迎えて ～馬宮の歴史とともに未来へ～」

校長　衛藤伸介（えとうしんすけ）

先週、本校は創立 80 周年という大きな節目の行事を行いました。記念式典をはじめとするさまざまな記念行事には、多くの地域の皆様、保護者の皆様、そして卒業生の皆様に御参加いただき、学校がたくさんの方々に支えられてきたことを改めて実感する機会となりました。80 年という長い歳月の中で本校に関わってくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。また、同じ週には新人体育大会の県大会に進出したソフトボール部が、見事に県優勝という最高の結果を残し、この記念すべき年に輝かしい彩を添えてくれました。

さて、記念行事の中で、生徒たちは学校の歴史を振り返る場面に触れました。本校の歴史をたどると、そこには学校だけではなく、この馬宮の地域が歩んできた歴史そのものが重なって見えてきます。学校は地域とともにあり、地域に育てられながら今日まで歩んできました。創立 80 周年を迎えた今だからこそ、私たちが暮らし学ぶこの馬宮の歴史に改めて目を向けてみたいと思います。

現在の馬宮地区は、明治 22 年の町村制施行に伴い、西遊馬・土屋・二ツ宮・飯田新田・植田谷領本村新田といった村々が合併して誕生した馬宮村にその名の由来があります。村名は、西遊馬の「馬」と二ツ宮の「宮」を合わせて付けられました。現在、「馬宮」という地名は行政上の住所としては残っていませんが、馬宮地区や小・中学校など、その名は今も地域の誇りとして受け継がれています。

本校が誕生したのは終戦直後の昭和 22 年です。日本全体が戦後の混乱から立ち上がろうとしていた時代でした。物資も十分ではなく、生活は決して豊かではありませんでした。しかし、「子どもたちに学ぶ場を」「地域の未来を担う子どもたちを育てたい」という願いが人々を動かし、本校の歴史が始まりました。その思いは 80 年を経た今も変わることなく、学校教育の根底に流れ続けています。

今回の創立 80 周年記念行事では、多くの卒業生や地域の皆様から学校への思いや思い出を伺う機会がありました。そこから感じたのは、本校が単なる学びの場ではなく、地域の人々の人生や思い出と深く結び付いた存在であるということです。親子三代にわたって本校を卒業した御家庭も少なくありません。80 年という歴史の重みは、数字だけでは表せない地域の絆そのものなのだと感じています。

歴史とは、単に過去の出来事を知ることではありません。困難を乗り越えながら地域を築いてきた先人たちの思いを受け継ぎ、未来へつないでいくことです。古より受け継がれる馬宮の歴史、その中の 80 年を刻んできた本校の歴史。その両方の歩みを振り返ると、私たちには次の世代へよりよい地域と学校を引き継いでいく責任があることを感じます。

創立 80 周年はゴールではなく、新たなスタートです。生徒たちには、この馬宮の地で学ぶことに誇りをもち、自分たちを支えてくれる地域の人々への感謝の気持ちを大切にしながら成長してほしいと願っています。そして、未来の 100 周年を迎える頃には、今の生徒たちが地域や社会を支える立派な大人となり新たな歴史を築いてくれていることでしょう。

私たち教職員も、これまで受け継がれてきた伝統と地域の思いを大切にしながら、子どもたち一人ひとりの成長を支え、地域とともに歩む学校づくりに努めてまいります。

今後とも本校の教育活動への御理解と御支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。